

租税教育実践レポート

1 単元名 「地方自治と私たち」 帝国書院P.100～P.107

2 学 年 第3学年

3 単元の目標

○地方公共団体の仕事としくみ、政治参加のしかたを理解し、地方財政の抱える課題について、さまざまな資料から読み取り、図表などにまとめることができる。【知識及び技能】

○地方自治を発展させるために、私たちはどのように地方の政治に参加すべきかについて、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。

【思考力、判断力、表現力等】

○自分の住む地方公共団体について調べて関心を持ち、自分たちが近い将来、選挙権をもつことを意識し、選挙権の行使や地方自治のしくみについて主体的に調べ、まとめようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地方公共団体の仕事としくみ、政治参加のしかたを理解し、地方財政の抱える課題について、さまざまな資料から読み取り、図表などにまとめることができる。	・地方自治を発展させるために、私たちはどのように地方の政治に参加すべきかについて、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を働かせて、多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。	・自分の住む地方公共団体について調べて関心を持ち、自分たちが近い将来、選挙権をもつことを意識し、選挙権の行使や地方自治のしくみについて主体的に調べ、まとめようとしている。

5 単元の指導計画（全6時間）

時	学習のねらい（○）と主な活動内容（・）	評 価			
		知	思	態	評価規準（評価方法）
1	<p>「地方自治と地方公共団体」</p> <p>○地方自治が住民自治の原則に基づいていること、地方分権によって重要性が高まっていることを理解できる。</p> <p>・身近な生活の中から地方公共団体の仕事を探し、学級で意見交換する。</p>	○			<p>・地方自治が住民自治の原則に基づいていること、地方分権によって重要性が高まっていることを理解している。</p> <p>（発言・ノート）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治の位置付けについて調べ、ノートにまとめる。 ・宇都宮市の行政に関する課題を調べ、ノートにまとめる。 			
2	<p>「地方公共団体のしくみと住民参加」</p> <p>○地方自治のしくみについて、地方議会と首長の役割及び直接請求権、住民参加を中心に理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体の首長と地方議会の関係を調べ、ノートにまとめる。 ・直接請求権と住民投票について調べ、ノートにまとめる。 ・宇都宮市ではどのような住民参加の動きが見られるかを調べ、ノートにまとめる。 	○		<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治のしくみについて、地方議会と首長の役割及び直接請求権、住民参加を中心に理解している。 <p>(発言・ノート)</p>
3	<p>「地方財政の現状と課題」</p> <p>○地方公共団体の歳出と歳入の特色を理解し、持続可能な地方財政のために必要なことは何かを考察することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料から、地方公共団体の歳出と歳入の特徴を読み取り、ノートにまとめる。 ・宇都宮市の歳出・歳入について調べ、その特徴について全国平均と比較してノートにまとめる。 ・持続可能な地方財政を実現するためにどのようなことが大切かを考え、文にまとめる。 	○		<ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体の財政の状況から、持続可能な地方財政のために必要なことは何かを考察し、ノートにまとめている。 <p>(発言・ノート)</p>
4	<p>「宇都宮市の財政を考えよう」</p> <p>○宇都宮市に地方交付税交付金が交付されなくなった理由を考察することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市の税の集められ方について確認する。 ・税収が増えたものを予想する。 ・実際に資料をもとに、不交付団体になった理由を考え、発表する。 	○		<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市に地方交付税交付金が交付されなくなった理由を考察し、ノートにまとめている。 <p>(発言・ノート)</p>
5	<p>「私たちと政治参加」</p> <p>○若い世代の投票率が低いことによる政治への影響を踏まえ、自分たちがどのように政治参加をしていくかを考察することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料から、若い世代の投票率が低い現状とその理 	○		<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の投票率が低いことによる政治への影響を考え、自分たちがどのように政治参加をしていくかを文にまとめている。

	<p>由を考察し、ノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の投票率が低いと政治にどのような影響が出るかを考え、グループで意見交換する。 ・これから私たち一人ひとりがどのように政治に参加していくべきかを考え、文にまとめる。 				(発言・ノート)
6	<p>「第2部第2章を振り返ろう」</p> <p>○第2部第2章の学習を振り返り、章を貫く問いに対して多面的・多角的に考察・表現し、今後の学習の見通しを立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元を貫く問いに対する答えを論述する。 ・単元の学習を通して疑問に思ったことやさらに追究し続けていきたいことを、理由とともに記述する。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・章を貫く問いに対して、はじめに立てた見通しを踏まえて、振り返り、疑問やさらに追究すべき点を見だし、文にまとめている。 <p>(単元振り返りシート)</p>

6 本時の授業展開（4時間目／全6時間）

(1) 本時のねらい

宇都宮市に地方交付税交付金が交付されなくなった理由をさまざまな資料から予想し、税金の増えた主な要因を考えることができる。

(2) 指導の方針

今年度、宇都宮市に地方交付税交付金が交付されなくなった。身近な題材を用いることにより、税に興味・関心をもって取り組んでもらいたい。そのため、以下の授業の工夫をした。

- ① 新聞記事を授業に活用することで、社会への関心を高め、自分ごととして考えを深めることにつながる。
- ② 最初に提示した資料に加え、詳細な資料が追加されないと解決できない授業展開をすることにより、資料活用の技能を高める。
- ③ 総合的な学習の時間の授業で「市長になるための公約を考えよう」を行った。そのときに経済の活性化を公約に掲げた生徒が多かった。税金が増えることは、宇都宮市の経済の活性化につながることに結びつける。
- ④ 解答の一例として、宇都宮市長の記者会見の映像を流すことにより、宇都宮市民の一員であることを自覚させ、自分事として考えさせる。

(3) 本時の展開

時間	学習活動・内容	資料・準備	指導上の留意点
10分	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○宇都宮市に地方交付税交付金が交付されなくなったのはなぜだろう</p> </div> <p>2 宇都宮市の税の集められ方について確認する。</p>	プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での既習事項を想起させる。 ・ものを買ったとき（消費税） ・市区町村に住んでいる人（市民税） ・会社に勤めている人（市民税） ・自分で商売をしている人（事業税） ・土地や建物をもっている人（固定資産税） ・ふるさと納税 ・観光客の増加（消費税等）
35分	<p>3 税収が増えたものを予想する。（個人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民税（人口が増えた） ・消費税（LRTで観光客が増えた） ・法人税（移住で働く人が増え、会社の収入が増えた） <p>4 実際に資料をもとに、不交付団体になった理由を考え、発表する。（グループ→全体）</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・税収が増えたものについて、発表させるときには、理由を述べさせるようにする。 ・この時点では、地方税として習っているので、住民税などの項目は小学校の知識の範囲でかまわない。 ・最初の資料では、解決できない資料を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ①人口：×人口減少→○年齢別人口 ②法人税：×申告等件数→○評定額 ③固定資産税：×学区→○宇都宮駅東 ・途中から、追加資料を提示する。 ・税収が増えたものについて、発表させるときには、理由を述べさせるようにする。
5分	<p>5 今日の学習で学んだこと、思ったこと、新たに生じた疑問等をプリントに記入する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・記入後、数名に発表させる。

(4) 評価（思考・判断・表現）

「おおむね満足できる」状況	「十分満足できる」状況の一例	努力を要する生徒への支援
・宇都宮市に地方交付税交付金が交付されなくなった理由について予想し、税金の増えた主な要因を考えることができる。	・（「おおむね満足できる」状況に加えて）交付されなくなったその後の影響について具体的に書いている。	・次時の最初に、他の生徒が書いた「授業を終えて」を教師が紹介する。

7 成果と課題

(1) 成果

- ・少子高齢化で人口減少傾向だが、生産年齢人口は増えているなどの視点を変えることによって、税金の増加につながることに気づくことができた。
- ・少子高齢社会や宇都宮市の財政の特色を踏まえて、税金増の理由を導きだし、総合的な学習の時間の「市長の公約」と合わせて経済の活性化の理由と関連付けることができた。
- ・総合的な学習の時間と連携をとることにより、市政について興味をもち、より深い知識が必要と感じた生徒がおり、主権者教育につながった。

(2) 課題

- ・追加の資料を出すタイミングが難しく、話し合いの時間が少なかったかもしれない。
- ・税金が増加する理由は理解できたが、税についての知識を想起させていれば、話し合いが深まった可能性があったかもしれない。

8 参考文献・資料

- ・中学校学習指導要領解説 総則編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 社会編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学生の公民 よりよい社会を目指して 帝国書院
- ・下野新聞（令和7年7月30日付）
- ・宇都宮市 令和7年度 税務概要
<https://www.city.utsunomiya.lg.jp/kurashi/zei-info/shiryo/gaiyou/1030049.html>
- ・宇都宮市 統計データバンク
<https://www.city.utsunomiya.lg.jp/shisei/johokokai/gyoseisiryu/1020024/index.html>
- ・国税庁 財産評価基準書 路線価図・評価倍率表
https://www.rosenka.nta.go.jp/main_r07/kanto/tochigi/prices/c21302fr.htm